

# 日中両国語間の同形異義語についての考察

張

軍\*

## On Homonym Used in Japanese and Chinese

Zhang Jun\*

### Abstract

In both Chinese and Japanese, Chinese characters are commonly used. However, even the same character varies greatly in meaning and colloquial usage when it is used in Chinese and Japanese. So-called homonyms between Chinese and Japanese are referred to those Chinese characters which are the same in form but different in meaning and usage. In this glossary, there exists vocabulary quite different in meaning and usage and the vocabulary similar but with a light nuance. In this essay the writer mainly discusses two-character homonyms which are quite different in meaning and usage in both Chinese and Japanese, especially the meaning in Japanese. Meanwhile the writer classifies such glossary by component element different in meaning and usage in both languages and by grammatical relationship in wordbuildings so as to review the general characteristic of homonym in both languages.

**Key words:** homonym, component element, grammatical relationship

### 要 旨

中国語と日本語では共に漢字が使われているが、同じ漢字表記で意味や語感が異なる場合が多くある。日中同形異義語とは日本語と中国語とで、意味や用法が異なる同形語を指すことである。一概に「日中同形異義語」と言っても、その中には意味や用法のまったく違うものもあれば、微妙な差異を有するにとどまるものもある。本稿では、二字の同形語に限り、日本語と中国語とで意味、用法のまったく一致点を見ないものを取り上げ、ことに日本語における意味の偏りを検討して、その両国語間における構成要素の意味が両国語間で意味の食い違い方及び要素間の文法関係などによって分類する。日中両国語間の同形異義語の一般的特性を考察しようと思う。

キーワード：同形異義語 構成要素 文法関係

### 1. は じ め に

中国語と日本語では共に漢字が使われていることは周知のことである。中国人は初めて日本語に接したとき、同じ漢字を用いる日本語に親しみを感じると同時に、文中の漢字を拾い読みさえすれば何となく分かると思ひ込み、日本語は容易に習得できるという錯覚に陥りやすい。このたび私は日本に来て中国語を選択した学生が案外多い（一つのクラスは30名ぐらい）ということを知り、日本の学生も中国人と同じような感覚を持っているのではないかと思う。

本来文字を持たなかった日本は中国から漢字や漢語をその意味と共に取り入れた。また日本では近代以後、漢字とその意味を利用して多くの新語を作り、その一部が中国語の中に取り入れられている。日本語を習ったことのない中国人でも、日本旅行中筆談によってどうにか用を足すことができたり、日本の新聞を眺めているとかなりの意味が推測したりできるのはこのためである。しかし、私たちは同じ漢字で書き表しているのだが、時間の推移と共に両国において使われている漢字や言葉の意味

が変化し、互いに通じなくなっている語が数多く存在するようになった。私たちはそのことにあまり気付いていない。たとえ、発音ができなくても、筆談によって意思の伝達ができるはずの両国語が、それぞれの変化によりあるいは文字改革により伝達不可能になりつつある。同じ漢字表記で意味や語感が異なる場合、誤解は大きくなる。つまり、相手の国にもともと存在しない語を相手も持っていると思ひ込み、同義語として使ってしまうのである、形は同じでも種種の原因によって意味、用法に違いが生じた結果、同義とならない同形語も数多く存在することに十分注意しなければならない。

小稿は現代日本語と中国語における同形異義語を辞書等より拾い出し、それぞれの構造的、意味的、用法の特徴を明らかにし、両言語の対応関係を考察することにより、存在した当たり前の言語的障壁をよりはっきりさせることを目的とする。これは言語習得及び言語教育の面においても極めて有益なことと思われる。

日中同形異義語とは日本語と中国語とで、意味や用法が異なる同形語を指す。一概に「日中同形異義語」と言っても、その中には意味や用法のまったく違うものもあれば、微妙な差異を有するにとどまるものもある。いま、日中同形異義語について、意味や用法の相違点により分類

平成14年12月26日受理

\* 瀋陽工業大学外国語学部講師